

## 認定心理士認定資格細則

- 1 認定心理士資格認定制度規程第3条に基づく認定資格は、本細則の定めるところによる。
- 2 認定資格の条件は次の各号を満たすものとする。
  - (1) 16歳以降通算2年以上日本国に滞在した経験を有する者。
  - (2) 学校教育法により定められた大学、または大学院における心理学専攻、教育心理学専攻、または心理学関連専攻の学科において、別表に掲げる科目を履修し、必要単位を修得し、卒業または修了した者及びそれと同等以上の学力を有すると認められた者。  
上記の条件を卒業見込みの学年度において満たしている者は、申請することができる。
- 3 第2条の規定にかかわらず、連続して5年以上この法人に正会員として在籍し、本務校において心理学関連科目を担当する大学等(四年制大学、短期大学、高等専門学校、専門学校)の教員は、所定の様式によってこれらの事項を認定委員会へ届けることにより、資格審査を受け、資格認定を受けることができる。
- 4 第2条(2)に定める科目取得の認定にあたっては次の各号による。
  - (1) 別表の科目名を参照しながらも、それぞれの大学ないし学科の実情に応じ、名称に捉われないで当該内容が含まれるか否かによって判定する。合計は36単位以上とする。
  - (2) 心理学概論は、一般教育や教職教養における科目をもって充当することもできる。
  - (3) 複数領域にまたがる科目を該当させることもできる。ただし、その科目をもって複数科目を修得したとすることはできない。
  - (4) 基礎科目のa、bは各4単位以上、cは3単位以上修得し、合計で12単位以上となること。
  - (5) 選択科目d～hの5領域のうち3領域以上で、各領域4単位以上、合計16単位を満たしていること。
  - (6) 残り8単位はa～hの任意の科目または「その他の科目」(i)で充当すること。
  - (7) 卒業論文は、卒業論文を単位として授与する機関に限り、その機関で授与している単位数のうち、最大4単位までを認定のための単位としてその他の科目iの単位として充当できるものとする。
- 5 本細則の改正は、理事会の承認を得るものとする。

### 附 則

- 1 本細則は平成6年9月20日より施行する。

- 2 本細則の改正は、平成9年9月16日より施行する。
- 3 本細則の改正は、平成11年9月4日より施行する。
- 4 本細則の改正は、平成14年4月1日より施行する。
- 5 本細則の改正は、平成19年4月1日より施行する。なお、平成24年3月までは、平成11年9月4日施行の規則による申請も可とする。
- 6 第3条に該当する場合の審査料は無料とし、認定料は30,000円とする。
- 7 本細則は、平成19年4月1日施行の社団法人日本心理学会認定心理士認定資格細則を改正したものである。
- 8 本細則の改正は、平成22年6月20日より施行する。
- 9 本規程は、平成23年4月1日より施行する。

## 認定心理士認定資格細則別表

認定心理士の資格認定を受けるためには、修得単位に関する基礎資格として、下記のような科目の修得が必要とされる。すなわち、「基礎科目」は a, b の各領域 4 単位以上、c の領域 3 単位以上で、小計が 12 単位以上であること、「選択科目」は d, e, f, g, h の 5 領域中 3 領域以上で各領域 4 単位以上、かつ、5 領域の小計が 16 単位以上であること、これに「その他の科目」(i)の単位を加えて総計 36 単位以上であることが必要とされる。ただし、「その他の科目」以外の各領域は「基本主題」と「副次主題」のいずれかに分類される。各領域で必要な単位は 4 単位以上であるが、この 4 単位中少なくとも 2 単位は「基本主題」に属する単位でなければならない。残余の単位分は「副次主題」に属する単位でもよい。「卒業論文」は、最大 4 単位までが「その他の科目」(i)の領域の単位として認められる。

### 1) 基礎科目 (12 単位以上)

#### a. 心理学概論

●**基本主題** 心理学概論, 教育心理学概論, 基礎心理学, 一般心理学, 心理学中心の行動科学概論・行動科学など

●**副次主題** 心理学史, 社会心理学概論, 学習心理学概論, 人格心理学概論, 発達心理学概論, 臨床心理学概論など

#### b. 心理学研究法

●**基本主題** 心理学研究法, 教育心理学研究法, 心理学実験法, 実験計画法, 心理測定法, 心理検査法(人格診断法を含む), 心理統計学, 計量心理学, 情報処理演習(ただし, 心理学実験データ処理に関する講義・実習)など

●**副次主題** 心理統計学でない一般統計学, 心理学実験を目的とした情報処理技法, 教育評価法など

#### c. 心理学実験・実習

●**基本主題** 心理学基礎実験, 心理学実験, 心理学実験実習, 心理学実験演習, 行動科学基礎実験, 人間行動学実験実習, 教育心理学実験実習, 社会心理学実験実習など

●**副次主題** 心理検査法実習, 臨床心理学実習, 心理学実験を対象としたコンピュータ実習など

### 2) 選択科目 (16 単位以上)

#### d. 知覚心理学・学習心理学

●**基本主題** 知覚心理学, 感覚心理学, 認知心理学, 学習心理学, 思考心理学, 情報処理心理学, 数理心理学, 言語心理学, 感情心理学, 行動分析学, 認知科学(心理学的立場による)など

●副次主題 色彩心理学, 人間工学など

#### e. 生理心理学・比較心理学

●基本主題 生理心理学, 比較心理学, 動物心理学, 比較行動学, 精神生理学, 神経心理学など

●副次主題 神経生理学, 行動薬理学, 行動生理学, 動物生態学など

#### f. 教育心理学・発達心理学

●基本主題 教育心理学, 発達心理学, 児童心理学, 青年心理学, 生涯発達心理学, 教育評価, 教育測定, 教科学習心理学, 教授心理学, 学校心理学, 発達臨床心理学, こども学(心理学的立場による), 進化心理学など

●副次主題 教育工学, 学業不振児の心理, 教師の心理, 親子関係の心理など

#### g. 臨床心理学・人格心理学

●基本主題 臨床心理学, 人格心理学, 性格心理学, 健康心理学, 福祉心理学, 異常心理学, 精神分析学, 自我心理学, 心理療法, 行動療法, カウンセリング, 面接技法, 児童臨床心理学, 障害者心理学, 行動障害論, 適応障害論, 適応の心理, 臨床心理学実習, 心理検査実習, 犯罪心理学, 非行心理学, 矯正心理学, 教育相談など

●副次主題 精神医学, 行動医学, 心身医学, 精神保健学など

#### h. 社会心理学・産業心理学

●基本主題 社会心理学, 実験社会心理学, 集団心理学, グループ・ダイナミックス, 心理学的人間関係論, 対人関係論, 対人行動論, 対人認知論, コミュニケーションの心理学, マスメディアの心理学, 家族心理学, コミュニティ心理学, 環境心理学, 産業心理学, 組織心理学, 労働心理学, 消費者の心理, 職業心理学, 文化心理学, 広告心理学, 交通心理学, ビジネス心理学, 化粧心理学, 被服心理学, 社会心理学調査実習など

●副次主題 社会学的な社会心理学, 心理学的な労働科学など

### 3) その他の科目

i. 心理学関連科目, 卒業論文・卒業研究 原則的に a~h の複数の領域にかかわる心理学関連科目。卒業論文, 卒業研究は最大 4 単位まで